

日本TCS 新拠点

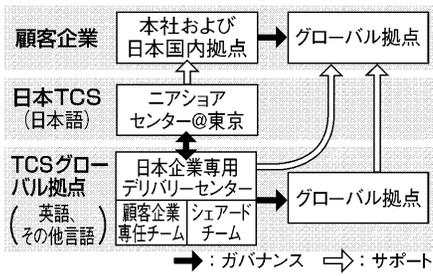
来月開設 日系向け運用保守

日本タタ・コンサルタンシー・サービス（日本TCS、東京都港区、垣原弘道社長）は、2022年1月に日本企業専用の運用保守サービス拠点「ニアシヨアセンター@東京」を同社内に開設する。まずは約50人体制で運用を始める。今

後、23年3月末までに約100人、24年3月末までに約300人に増強する計画。TCSグローバルのオフシヨア（海外委託）チームと連携すること、グローバル人材や、アプリケーション（応用ソフト）の運用保守サービスを活用の拡充により、顧客企

するための窓口として機能する。顧客企業が事業展開する各国の現地時間にも対応可能な体制をとる。アプリケーションの運用保守サービス（AMS）から開始し、随時サービスを追加する。バイリンガル人材の拡充により、顧客企

ニアシヨアセンター@東京サポートモデル



業への言語サポートも強化する。ニアシヨアセンター@東京は、TCS独自の自動化フレームワーク（枠組み）「MFDM」やチャットボット（自動応答ソフト）フレームワーク「TISA（ティサ）」、コグニティブ・オートメーション・ソリューション「ignio（イグニ

オ）」を活用した運用保守の高度化により、サービスのレベルの向上と工数の削減を実現する。